

平成21年4月24日
厚生労働省健康局
結核感染症課

米国における豚由来（H1N1）インフルエンザ のヒト感染例について

1. 4月23日（米国時間）の米疾患対策センター（CDC）より、4月14日以降、米国内の2州（*）で豚由来H1N1のA型インフルエンザウイルスの患者7例（罹患した患者は全て回復）と報告された。

（*）5例がカリフォルニア州（サンディエゴ・インペリアル）、2例がテキサス（サンアントニオ）より報告されている。

2. 厚生労働省としては、海外の進捗情報を収集しており、適宜情報提供をいたしますので、各自治体におかれましては、土日における連絡体制の整備をお願いいたします。

米国疾病管理センター（CDC）の豚インフルエンザの人感染の調査

平成21年4月24日

健康局結核感染症課

CDCは、カリフォルニア（サンディエゴ・インペリアル）とテキサス（サンアントニオ）の二つの州において、豚インフルエンザウイルス（H1N1）の人への感染例について、継続的な調査の実施に基づき、最新情報を更新、掲載している。

○ 現在の感染症例（平成21年4月24日 午後1時現在）

豚インフルエンザの人への感染例	
州	確定症例数
カリフォルニア	5
テキサス	2

※ 毎日、米国時間午後3時（日本時間午前4時）に更新

○ カリフォルニア、テキサス住民に対し、今現在はワクチンがないため、感染防止対策を実施することが重要であり、以下について推奨・警告している。

- ・ 咳やくしゃみをする際はティッシュで鼻と口を覆うこと。ティッシュはゴミ箱へ捨てること。
- ・ 頻繁に石鹸を使って手洗いをする、特に咳やくしゃみのあとは徹底すること。アルコール製剤は効果的である。
- ・ 健康状態の悪い者に近づかないこと、
- ・ もし健康状態が悪くなったら、仕事や学校を休み家に留まり、他の者との接触を避けること。
- ・ 目、鼻、口に触らないこと。
- ・ 呼吸器症状（咳、鼻水等）や、身体の痛み、吐き気、嘔吐や下痢など、健康状態が悪くなった場合は、まずはかかりつけ医に連絡すること。かかりつけ医がインフルエンザ検査をするかどうか決める。

○ また、CDCは関係者に対し、以下のように呼び掛けている。

- ・ 臨床医や検査機関に対し、熱性呼吸器症状のある患者で、カリフォルニア（サンディエゴ、インペリアル、カリフォルニアや、テキサス（サンアントニオ）に住む者やその地域に旅行した者、発症までの7日以内に、これらの地域の健康状態の悪い者に接触した者は、同インフルエンザの疑いがあるため、注意すること。
- ・ 州立公衆衛生検査機関に対し、全てのサブタイプではないインフルエンザA検体は、迅速にCDCに送ること。
- ・ 同インフルエンザの発生・接触者調査にあたる関係者は、適時、感染症防止策を実施すること。

参考：CDCホームページ <http://www.cdc.gov/flu/swine/investigation.htm>